

令和2年度取引力強化推進事業実施組合より

「ホームページのスマホ対応リニューアルによる商店街活性化事業」

取り組み事例紹介



実施組合 桑名市寺町通り商店街振興組合

事業概要 顧客が商店街に来街する際にスマートフォンで、気軽に商店街の情報を得ることが出来るホームページを再構築することで、商店街の最新イベントや各店舗等についての情報発信の強化に努めました。また、ホームページのリニューアルに伴い、商店街マップや各店舗の写真、情報が刷新されたことから、店舗の場所や営業時間の詳細等が分かりやすくなり、来街者にとって利便性の高いホームページとなりました。

さらに、令和2年の歳末大売出しでは、従来は新聞折り込みや地域紙等の紙媒体を活用して周知を図っていましたが、ホームページ上で宣伝したことで、より幅広い世代に周知することができました。

また、当ホームページは、商店街が運営するSNS (Instagram) と連動しており、今後の商店街でのイベントや店舗紹介等を容易に随時発信することができるようになったことから、今後の事業活動の活性化がより期待できる結果となりました。

成果等 組合員においては、商店街店舗の情報、写真、商店街マップが刷新されたことから、店舗の情報(営業時間・定休日・問い合わせ先)、位置や魅力をより周知させることができ、個店の販売促進につながりました。また、店舗の写真撮影や店舗情報の提供を行うことにより、個々の店舗も商店街の組合員としての意識が高まり、組合への帰属意識が向上しました。

組合においては、顧客が商店街に来街する際にスマートフォンで、気軽に商店街の情報を得ることが出来るホームページを再構築することで、最新の商店街イベントや年間イベント、商店街店舗の情報発信力を強化することができ、今までターゲットとしてきた高齢者だけでなく、若年層やファミリー層等の幅広い層に周知することができました。

令和2年度全国の先進組合事例に取り上げられました当会会員組合をご紹介します！

全国の先進組合

的矢湾あだこ岩がき協同組合 (三重県)

● 養殖・殺菌・発信等独自の 방법으로岩がきをブランド化

■背景・目的

的矢湾岸の鳥羽市町周辺では元来真がきの養殖が盛んであった。そこで岩がきを養殖して、1年中かきを出荷することができれば、養殖事業の経営安定と畔蛸町の新たな特産品として地域活性化にも寄与できると考え、研究会を発足。養殖技術を確認し本格的な養殖や商標取得、販売に取り組み、信用力向上や取引先の拡大を目指し、協同組合を設立した。

■取り組みの手法と内容

岩がきの養殖について研究を始めた当時、他地域では巨大な施設を利用した人口種苗が一般的であったが、メンバー5人で情報を共有し、1人が5つの方法で養殖に挑戦することで、最善の方法や条件等を導き出し、天然採苗による養殖技術を確立した。

全国販売に向けて「あだこ産岩がき」として商標登録を行うとともに、従来の殺菌処理に加えて真水浸透圧処理を併用する独自の浄化方法を確立した。浄化したかきは研究機関に分析を依頼しており、その分析結果を取引先に送付することで、岩がきの安心・安全さのアピールにつながっている。また、組合員ごとに色分けしたタグをつ



真がきの旬が冬であるのに対し、岩がきは春から夏が旬の大型のかき

けて、他地域との差別化やトレーサビリティの信頼性も確保した。

その後、東京を中心に試食会を開催し、料理人等に「あだこ産岩がき」の実入りや味の良さなど、天然物との違いを認識してもらい、取引先を徐々に開拓。地元の料理専門学校に岩がきを提供するとともに、組合員が講師となって調理方法等を伝授することで、若い料理人に岩がきの調理方法、味などの魅力を発信している。

シーズン前に採れた岩がきは、伊勢神宮に奉納する様子をマスコミで取り上げてもらうことで、岩がきのシーズン到来及びあだこ産の岩がきの存在を周知している。また、三重県が推進する「三重ブランド」の認定を取得し、展示会・商談会等に参加することで、知名度の向上や取引の拡大に努めた。取引先である全国の市場等にも組合員全員で訪問し、営業活動と情報収集を実施している。

■成果とその要因

協同組合設立初年度の共同販売事業の目標額を達成している。殺菌処理、分析など安心・安全の徹底、伊勢神宮奉納など継続的な情報発信、組合員全員参画する営業活動等による情報・意識の共有化等を実践し、あだこ産岩がきのブランド化に成功している。

的矢湾あだこ岩がき協同組合 TEL:0599-33-7888